

第88回

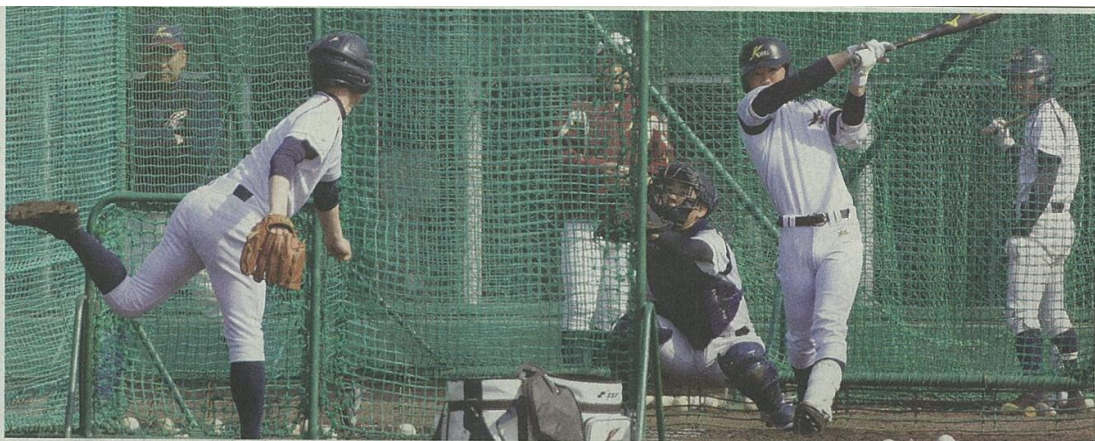
選抜高校
野球大会



第4日

第88回選抜高校野球大会に出場し、25日に初戦を控える青森山田と26日の2回戦に備える八学光星。23日は両校とも、午前中に約2時間グラウンドで練習し、攻守に動きを確認した。

青森山田、光星 入念に調整



左腕想定
近距離バッティング

光星は兵庫県伊丹市の伊丹スポーツセンター野球場で、打撃を重点に練習した。休養日に充てていた22日は宿舎で疲れを取った。左投手を想定した打撃練習に励む八学光星ナイン。23日、伊丹市伊丹スポーツセンター野球場

ホーム寄りに立たせた「近距離バッティング」を行い、選手たちは鋭いスイングを繰り返した。「休んだ後だが気の緩みはなく、完全に平安戦に向けてやれている。次は左バッターの対応がポイント」と仲井宗基監督。中軸で左打者の田城飛翔は「一球の見極めが重要になる。ストライクゾーンをしっかりヒットにしたい」と意気込んでいた。

(戸康成)

光星ナイン 振り鋭く

平安投手陣攻略へ
打撃中心メニュー



自分は真っすぐで押すタイプの投手ですが、練習試合では変化球の精度が良くなってきました。特にカットボール



バック信じ低め突く

光星⑩和田悠弥(3年)
＝投手、大阪、泉ヶ丘東中出

初戦は試合に出ませんでしたが、ブルペンでいつでも行ける準備はできていました。いい緊張感と雰囲気の中やれたと思います。次の龍谷大平安にも絶対負けたくない。登板したらバックを信じ、低めを突く投球をしたいです。宿では他の試合を見ています。(22日に被安打1の投球を見せた)東邦の藤嶋健人は衝撃でした。自分もあんなふうに投げたいです。